

日刊 磐城時報

本報社址 石城郡平町三丁目
電話 二二二二
印刷 石城郡平町三丁目
代印 石城郡平町三丁目
電話 二二二二
電話 二二二二
電話 二二二二
電話 二二二二

國本社支部發會 支部長は山崎氏 檢事長、知事等祝辭 終つて講演會開催

國本社平町支部發會式は既報の如く二十三日午前十時から平町第二小學校講堂で舉行、窪田檢事開會の辭を述べ小野澤辯護士推されて座長となり第一條から第五條までの規約を制定し評議員は追て決定する事とし支部長は山崎三郎氏を推し同氏の就任挨拶あり、後吉松宮城控訴院檢事長、伊藤縣知事の祝辭あり、國本社支部長平沼一郎氏國民精神作興の詔書を捧讀し式を閉じ午後一時半から引續き講演會に移り參謀部第一部長荒木陸軍中將の與國精神について、樞密院副議長法學博士男爵平沼一郎氏の建國精神と國本社的使命と題する講演あり午後五時閉會したが聴衆千名を數へ盛會であつた。

夏井川當選祝賀 小川村大字小川で

夏井川當選祝賀會は小川村大字小川で夏井川溪谷の福島縣十景に當選したので三十日祝賀會を催す。

丹野縣屬叙勳

會計課調度係主任縣屬丹野才次郎(石城郡玉川村出身)氏は氷年勤績の功により今回勳八等に叙勳を授けられた。

平郵便局の 宣傳活動寫眞

平郵便局では平町役場、平町青年團、平教育會と共同主催で來る二十五日午後六時から平町郵便局に於て簡易保險、郵便年金、郵便貯金獎勵の活動寫眞會を開催する筈で、入場絶對無料であつた。

十一月一日から 菊花品評會 盛會を豫想さる

評町千秋會支部主催の菊花品評會は愈々來月一日から十日間平町十五丁目廣場に開催される事になり、主催者側では各種準備増さしむる計畫で盛況を豫想さる。取掛つてゐるが花卉類の品評に取掛つては地方稀に見る大規模なもので出品点数は名花揃ひにて四百点以上に達するもの、如く從つて品評會場も門口三十分間五十分間とし之れに雨障子間敷等を入口の裝飾門及城角力協會では四倉町青年團の城角力協會で十一月三日午前十時から大浦村仁井田浦で相撲大會を舉行したが來賓多數あり盛會であつた。

少年庭球で 好間校勝つ

同業石城新聞社主催石城郡少年庭球大會は既報の如く二十三日午前九時から平町商業學校コートで舉行競技の結果好間小學校優勝した。

大野稻作品評會 石城郡大野村農會主催

品評會は二十日開催され出品点数六十五点に達してゐるが審査の爲出張せる郡農會の大田技師は本年同村作柄の良好なるに驚いた。

満員自動車に 無理に乗つて負傷 さのふ飯野村地内で

平町四丁目片濱自動車部の乗合午前九時から午後五時まで出張自動車二台が二十三日午後零時四十分大出を出しを調備する。分頭名を發して平町に向ふ途飯野村大字中山に差しかゝつた際前方から口とりのない荷馬車が来たので之を避りんとして前輪を小溝に墜落、その際激動産婆檢定試験を受け内七名が合のた窓硝子を破壊したが、自格した。赤井村佐々木惣三郎(四〇)は硝子の破片で左手の動脈を切断し、平沼氏の運轉手が制止するのをさかすに無理にブレーキを踏んだのであつた。

産婆試験に各格 平沼氏

倉町大字原出、磐城セメント社長尾新妻勝治長男正雄は二十三日腸チブスと判明隔離病舎に收容された。

イカサマ祈禱や 神符賣りが増 平署で近く特別執行

昨今不景氣が愈々深刻味を加へ數ヶ月乃至は何年間も貸家札の来ると共に石城地方にはイカサマ祈禱や神符賣りが非常に微である貸家等が再び明るみへ増加した、特に地方農村の無誘ひ出される一陽來復の前兆として正に心氣轉換を物語つてゐる。

今から對策 石城郡地方政界

明年五月執行する代議士總選舉を控へ石城の政界は早くも活氣付き政界兩派とも各候補者物色中であるが何しろ今度は中選挙區となり従来と異なるに至つたのと、過般の縣會議員選舉に於て政界兩派とも辯士難に陥つて事や疑義が多かつたため運動に少なからず支障を來たしたところから確固たる陣容の下に必勝を期して普選第一回の代議士戰に臨む筈で、日勞黨や、労働黨からも出馬する筈で相當激三都は混戦を豫想されてゐる。

空家減少 平町の

本年春以來一時非常の空家を出すに至つた平町地方も其後同地方の經濟界が常態に復すに及んで一般金融界が稍回復し早晩好景氣來を豫想されるに至つたので表通り目抜きの場合等に

平沼氏 尼子亭投宿 蜜蜂の飼育 石城で盛んな

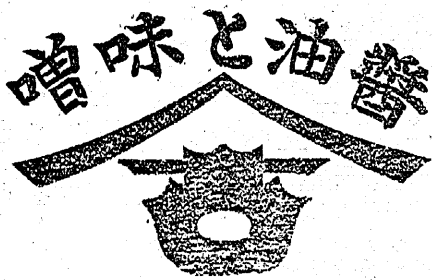
國本社平町支部發會式のため來平した男爵平沼一郎氏は二十三日午後五時から平町官民合同會に臨み尼子亭に投宿した。幾多の副業が各農村に普及されるに至つたが山間農村の副業として蜜蜂飼育等は最も歡迎されるに至り漸次普及の域に達しつゝあるが石城郡農會では山村副業としてつとに蜜蜂飼育を獎勵目下入道野村長嶋口氏が蜂口氏の今日迄の経験によるが費用の如きも一群十五大圓で二ケ年目には二群にも三群にもなりそれら飼育料の如きは一錢もかゝらず而もその收益に至つては一群からの採蜜量一斗五升内外ありその價格も一合卅五錢余なので他の副業よりも割合が一ケ月間の飼育をなせば相當の収入を得るに近く大々的宣傳に努めることになつた。

二歳の男兒を 絞殺して捨てる 生活苦が産んだ悲劇 犯人直ちに捕はる

二十三日午前七時頃大浦村上(三八)の四男長雄(二歳)で同日井田海岸松原に二歳前後の男兒の絞殺死体が遺棄されてゐるのにして同海岸に至り手拭で絞殺を折柄通行中の四倉町新町魚商加藤五郎が發見調て見ると殺害の動機は生活難のため。向身体には暖か味が殊つてゐるのほ引續き取調中である。

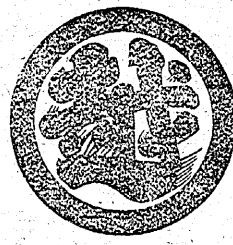
縊死体の身

日波邊村地内に縊死体あるを發見署からは係官警備と共に出張日波邊村に捜索の結果、右は四倉町見植田署で検死したが、身元は宮城縣鹽釜町北濱町船大工佐藤忠太夫(四〇)と判明。



油と味噌 吉
 福島縣平町
山崎合名會社
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番
 上野車坂四三
東京支店
 電話 下谷五七二番
 振替東京六八三二二番

開店御披露
和洋御菓子
 十月廿一日より廿八日迄の向ふ七日間
 開店記念とし、御来店の御客様に限り左の奉仕……
 小賣に限り
お買上金高の三割
商品切手提供
 平町二丁目(百七銀行前)
永野キヤンデーストア
 電話 近日開通

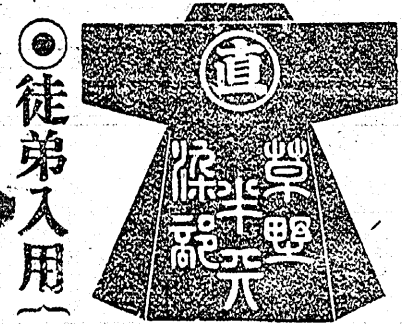


毎度格別の御引立を蒙り、誠に有難く厚く御禮申し上げます。陳者今般上記の通り、呉服大物及び雜貨等、東京流行の粹を蒐め、陳列販賣致します。尚洋服別売の御注文に應じ度熱練なる裁断師を同伴致します

東京の一越來る

平町住吉屋旅館本店に於て
 十一月五日、六日の二日間(午前八時より午後五時まで)

三越呉服店



徒弟入用
 (徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候)
金印半天専門
優秀品の証明
草野染工場
 警城平町
 電話三四八番

靴とかばん
 ◎御注文は特に勉強
 ◎既成品も豊富にありませす
 平町搔搔小路(役場前)
福山靴店

良品廉賣に勝る商略なし!!!
 警城セメント會社特約店
釜屋商店
 和洋銅鐵
 金物問屋
 警城平町 電話 一三九番
 ◎確實敏捷は◎の生命なり!!!

印刷物
 加納活版所
 電話 四〇九番
 二〇五番

寒さには是非
毛糸 各種
 新荷着
 手編用に防寒具用にイヨク需用が激増してまわりました是非御用命を
 平町三丁目
三井呉服店
 電話三十八番

松梅 金五圓也御一人前
松 金七圓也御二人前
 藝妓、車賃住復、御酒、御料理五品
 藝妓、車賃住復、御酒、御料理七品
 以上現金に限る

ツルヤ
 御好品を澤
 取揃へました
 平町
 電話 四〇九番

秋	冬	帽子	冬	秋
子	子	鳥	鳥	鳥
供	供	打	打	打
帽	帽	帽	帽	帽
子	子	子	子	子
案	案	案	案	案
内	内	内	内	内
折	折	折	折	折
中	中	中	中	中
折	折	折	折	折
帽	帽	帽	帽	帽
子	子	子	子	子
案	案	案	案	案
内	内	内	内	内

平町病院案内

咽喉科	大和田醫院 南町(電話一七〇番)
齒科	原齒科醫院 土橋通り(電話三一三番)
内科、外科	高久病院 田町(電話一三五番)
耳鼻咽喉科	松村病院 南町(電話一〇七番)
外科、一般	上田外科醫院 南町(電話二二九番)
婦人科	赤心堂病院 田町(電話四七五番)
眼科	吉田眼科醫院 紺屋町(電話六八番)
内科、外科	藤沼醫院 紺屋町(電話五〇七番)
婦人科、小兒科	磐城病院 田町本通り(電話一一四番)
花柳病科	